



横浜FC

## 横浜市内の中学生向けSNS講習 1/2

現在、スマートフォンを所持している小中学生が増えてきているなかで、89.8%と約9割がSNSを利用しています。

そこで、SNSをきっかけとしたトラブルや問題に遭遇し、ときには犯罪に巻き込まれてしまうこともあります。そこで、横浜FCはそのような課題に対し、株式会社SNSコーチ様とともに課題解決に寄与するためにSNS講習を実施しております。講習の中では、SNSの正しい使い方や、発信する際に気をつけるべきこと、炎上してしまった時の対処方法などの講習を実施しています。



**活動場所** 横浜市立篠原中学校、横浜市立丸山台中学校



**協働者**

企業、学校

**協働者名**

株式会社SNSコーチ、横浜市立篠原中学校、横浜市立丸山台中学校

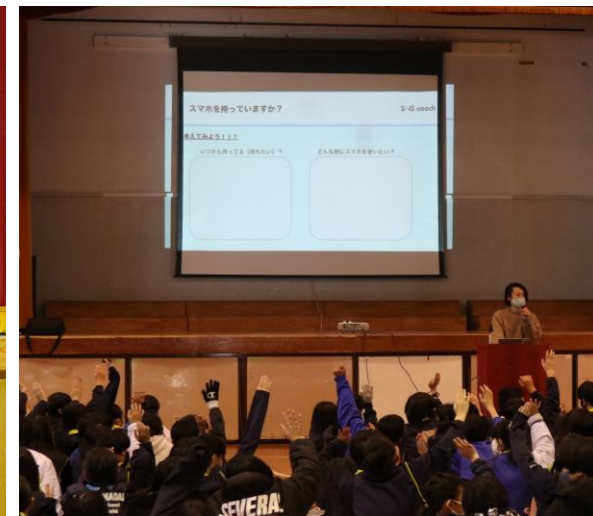


**協働者の声**

株式会社SNSコーチ／伊藤 拓真 氏



社会問題にもなっている「若年層におけるSNS利用の問題」は認識していましたが、「好きなこと・興味があること」の発信が、より良い未来につながると私たちは信じています。横浜FC様と協働し、SNS発信の危険性だけでなく、自分の未来の可能性が広がることも伝え、「楽しく、健全なSNS発信」を伝えていきます。



**活動詳細情報**

1

[協働社公式note](#)



**カテゴリ(SDGs)／取り組みテーマ**





横浜FC

## 横浜市内の中学生向けSNS講習 2/2

### Story

SNSに関する課題が多くなっている現代社会において、多分に漏れず横浜市内の中学校でもSNS上での生徒同士のコミュニケーション不足、誹謗中傷コメントの発見、ゲームアプリへの課金、など「SNS (LINE・Twitter・Instagram等)について生徒たちからの相談件数が増えている」という深刻な問題と危機感を持っている現状であることを受け、インナー向けではあるが日頃からSNS講習を受けている横浜FCが持つナレッジやネットワークを活用し横浜FCオフィシャルパートナーの株式会社SNSコーチ様と連携し、篠原中学校(1年生:134人)丸山台中学校(1年生:185人)を対象にアウター向けの



SNS講習を行いました。1年生の9割以上の生徒がスマートフォンを所持しており、DMで詐欺メッセージを受け取ったことがある生徒もあり危険が隣り合わせにある実例などを挙げて、自身の両親に相談をする、サイバーセキュリティホットラインに連絡するなどの解決策を伝えました。

研修内容の概要としてはSNSを正しく使用する上での、「常に誰かに見られている事を意識すること」「一般的なルールを守ること」「それぞれの立場を意識すること」の3つのマインドセットの説明をし、リアルとネットの違いや不適切な投稿の危険性などのリスクに対する正しい理解とSNSのマナーや正しい使い方を学んで頂きました。

また、講習実施後にアンケートを実施。「SNSの危険性について知ることが出来た」「SNSを上手く活用することで、素晴らしい世界があることも知れた」「危険メールなどは勇気をもって相談する」など、しっかりと当事者意識を持った感想をいただくことができました。今後は、対象者の幅を広げ小学校、高校でもSNSにまつわる課題解決への取り組みや使い方を講習していきたいと思ひます。

